

人物紹介



和重



昭彦

あらすじ

子供のころから誰にも必要とされず、仕事も失い、生きる事を諦めようとしていた昭彦。訪れようとしていた死を身代わりになつて助けてくれたのは不死身の吸血鬼 和重だった。共に過ごす時間が増え、次第に打ち解けていく二人。そんな中、和重を吸血鬼にした張本人である将門が現れる。挑発され、嫉妬を抑えきれなくなった昭彦は、ついに和重を押し倒し――!?

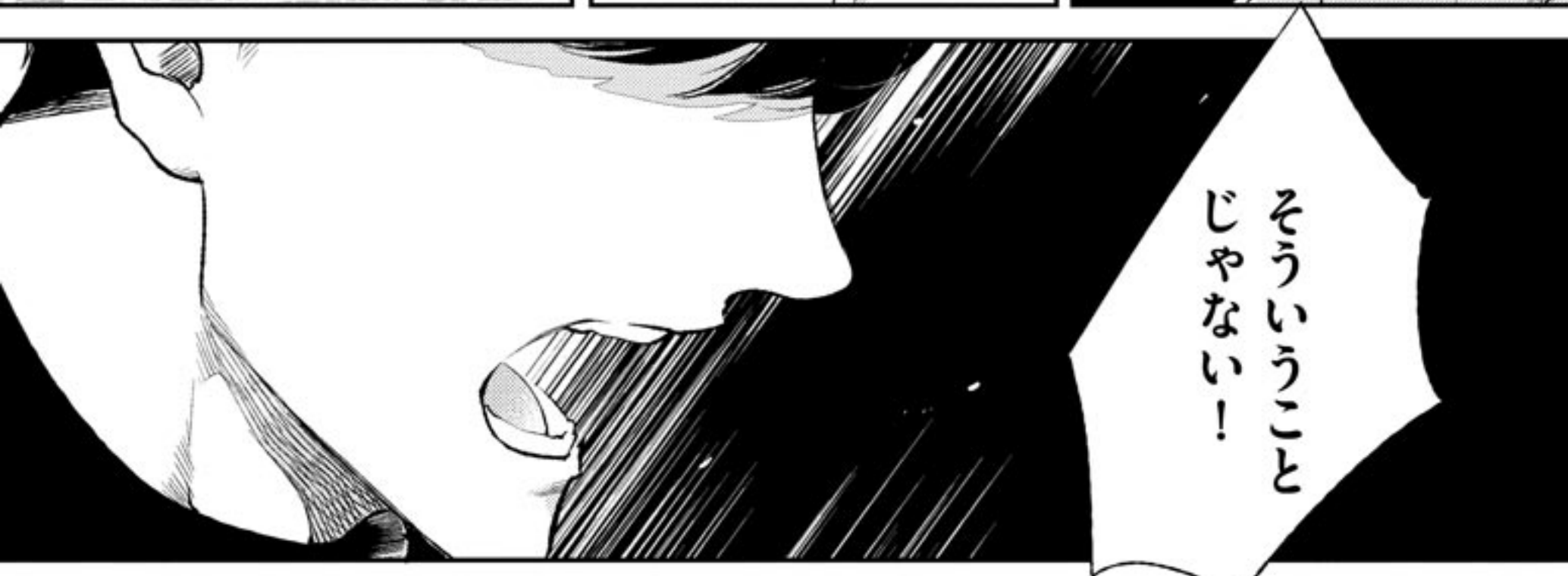


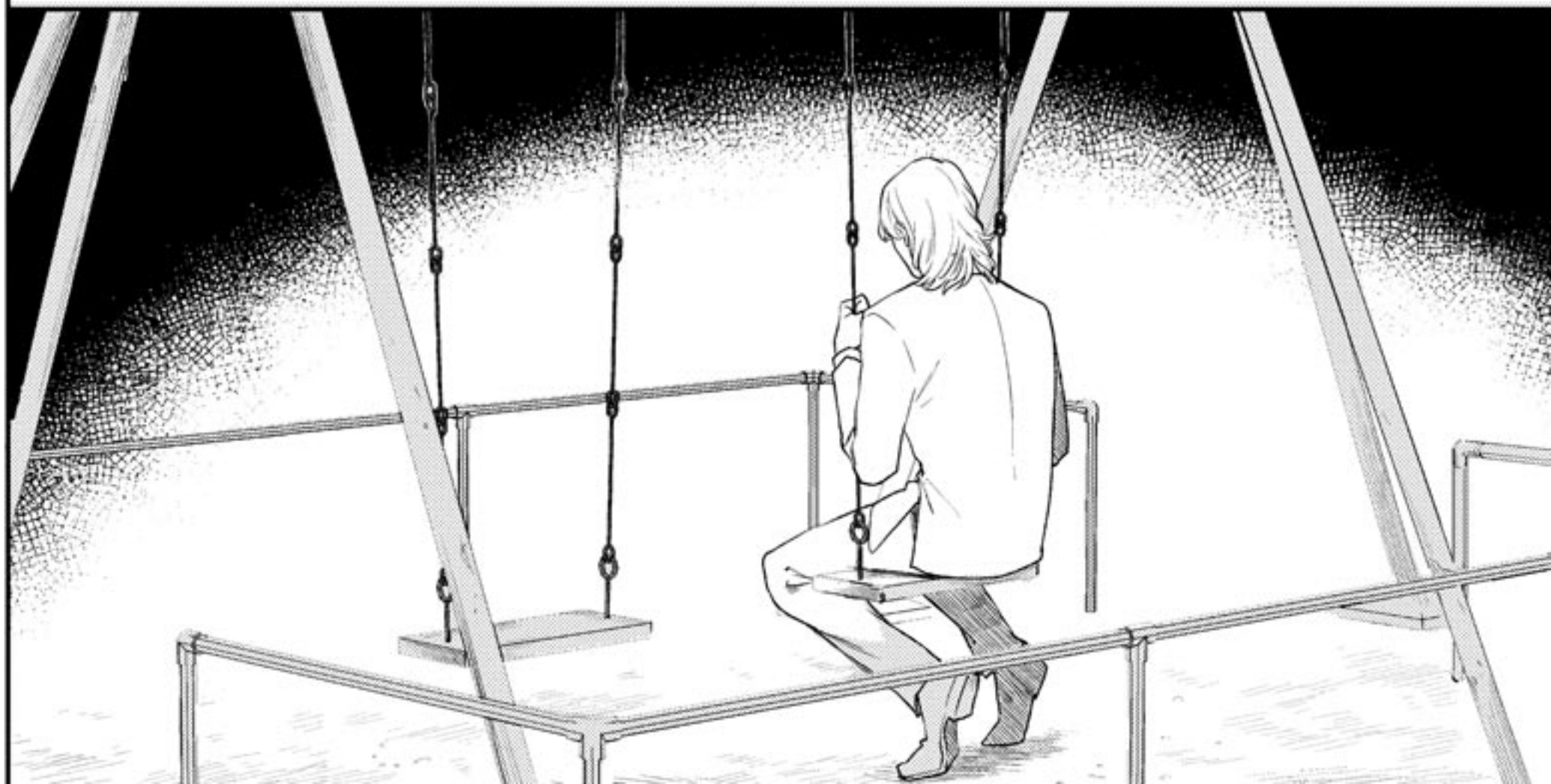
…目え覚めたか

…っ

はー…

はー…







かずしげ
和重さん！
どうしてあんなに
怒ってたんだろう

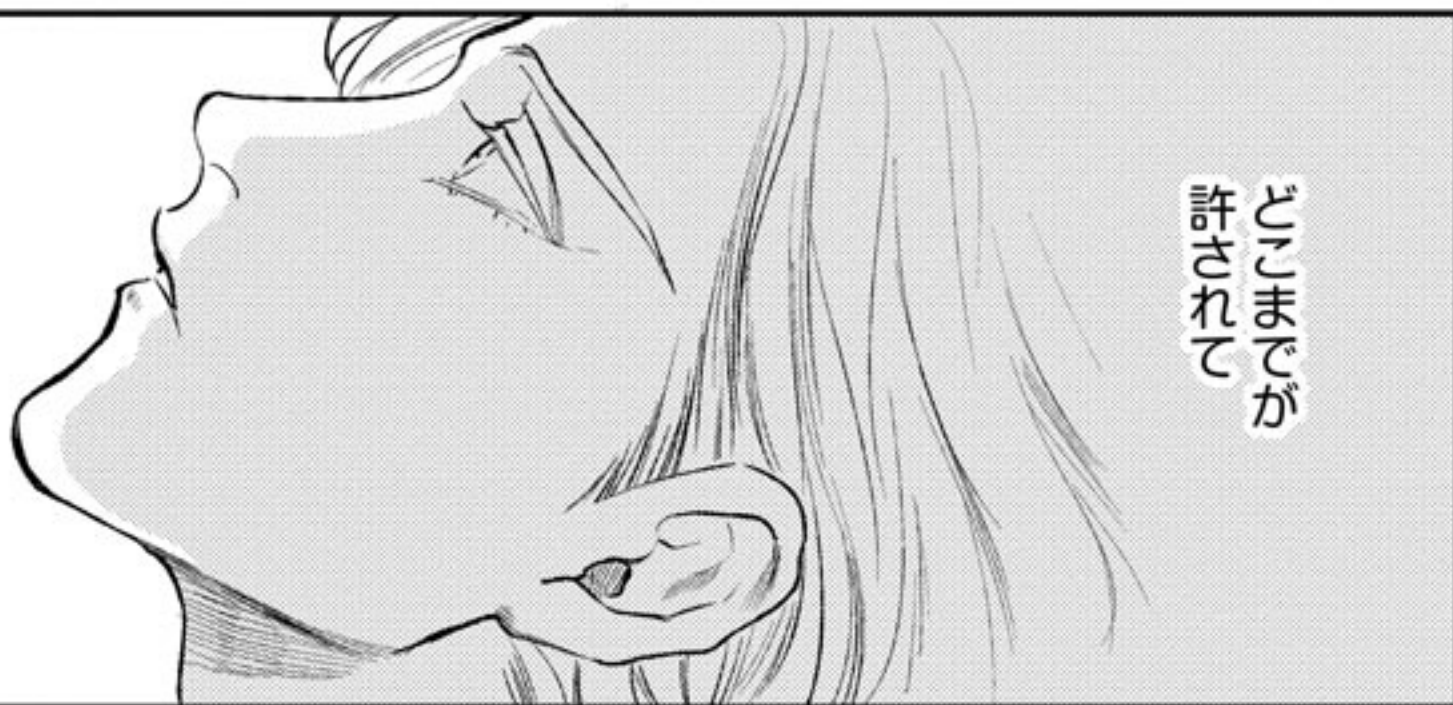
キスしたことが
原因じゃなければ一体…



分からない

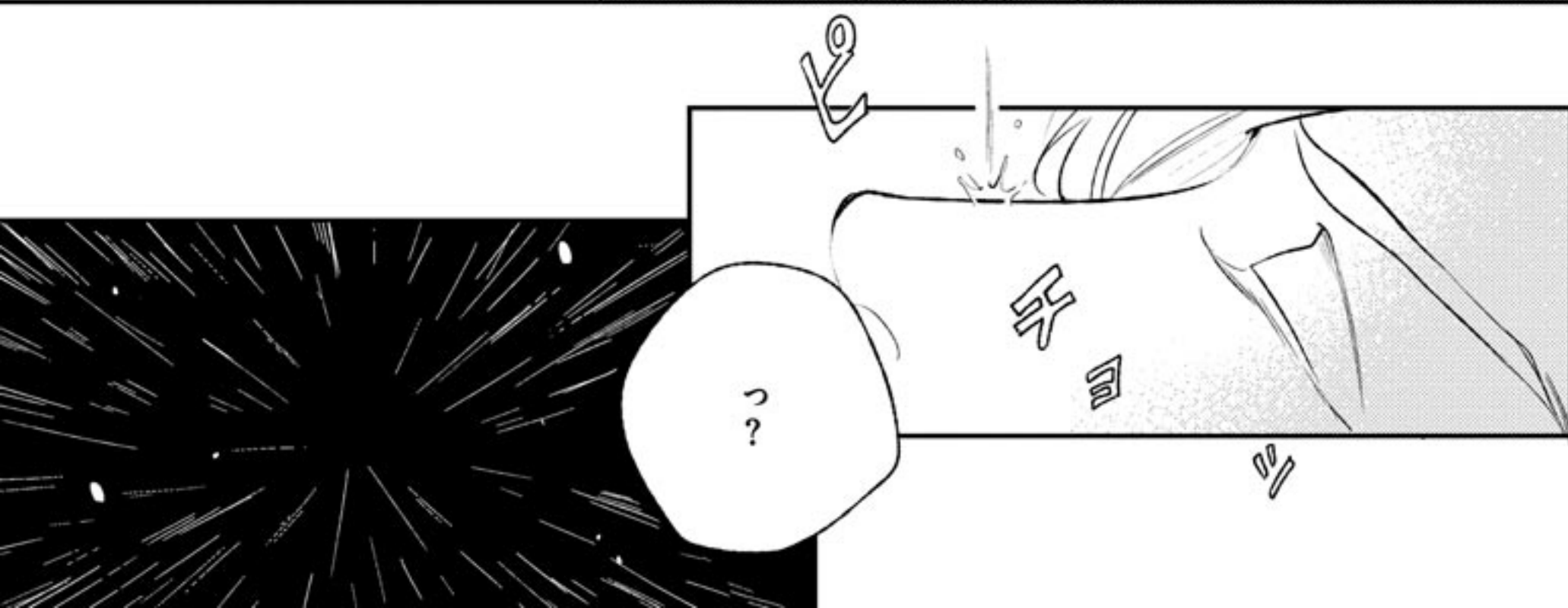
今までこんな風に
感情で動いたことなんて
なかったから

どこまでが
許されて



ハァ…

何が駄目なのか
分からない！…





あれ…

雨の予報なんて
出てたっけ



あ…

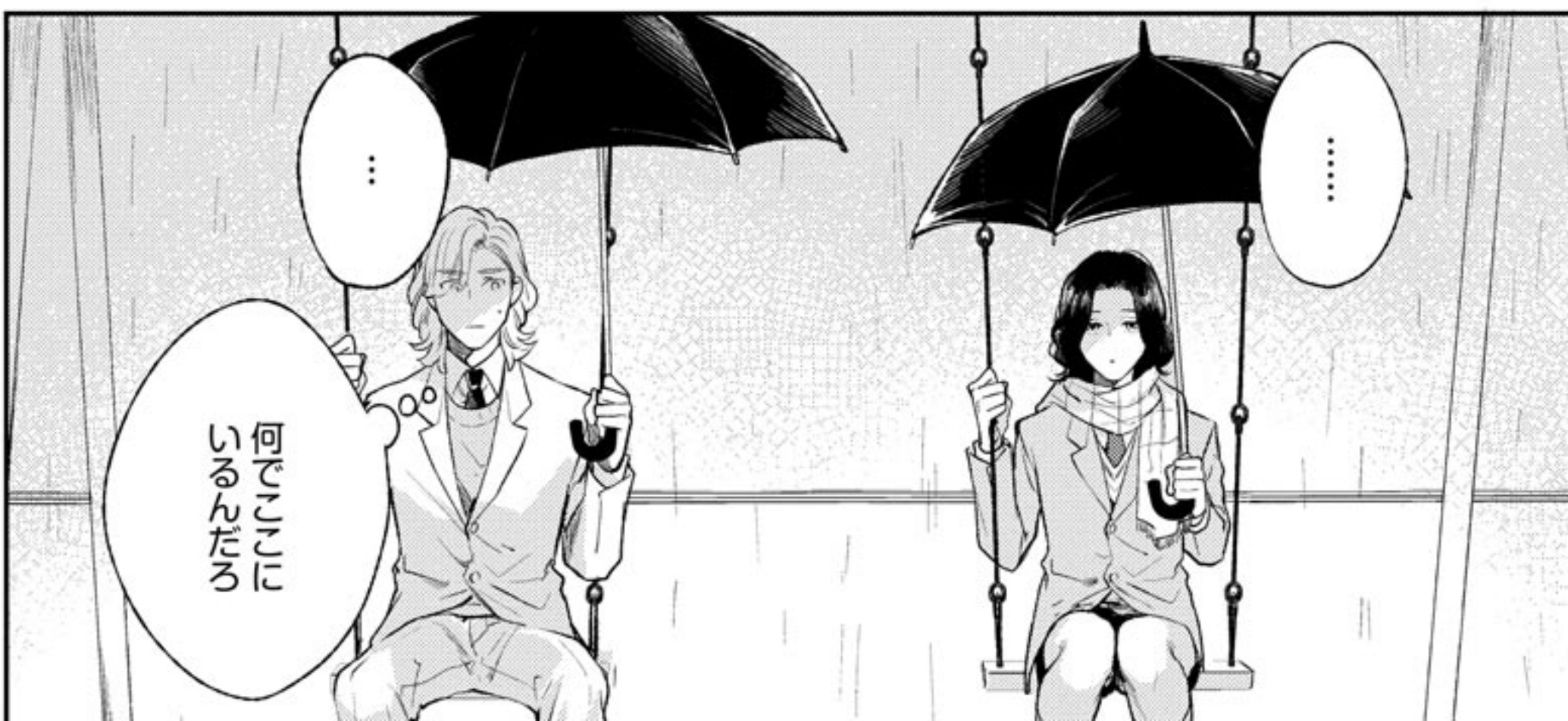
君は

風邪引くよ

えっと…
あ、ありがとう…?

この子
1人…?

あの男の子は
いざいざ…



何でここに
いるんだろ

…

…

…君、
吸血鬼だったんだね

違う

僕は
半吸血鬼だよ

え？

それって
吸血鬼と
どう違うの？

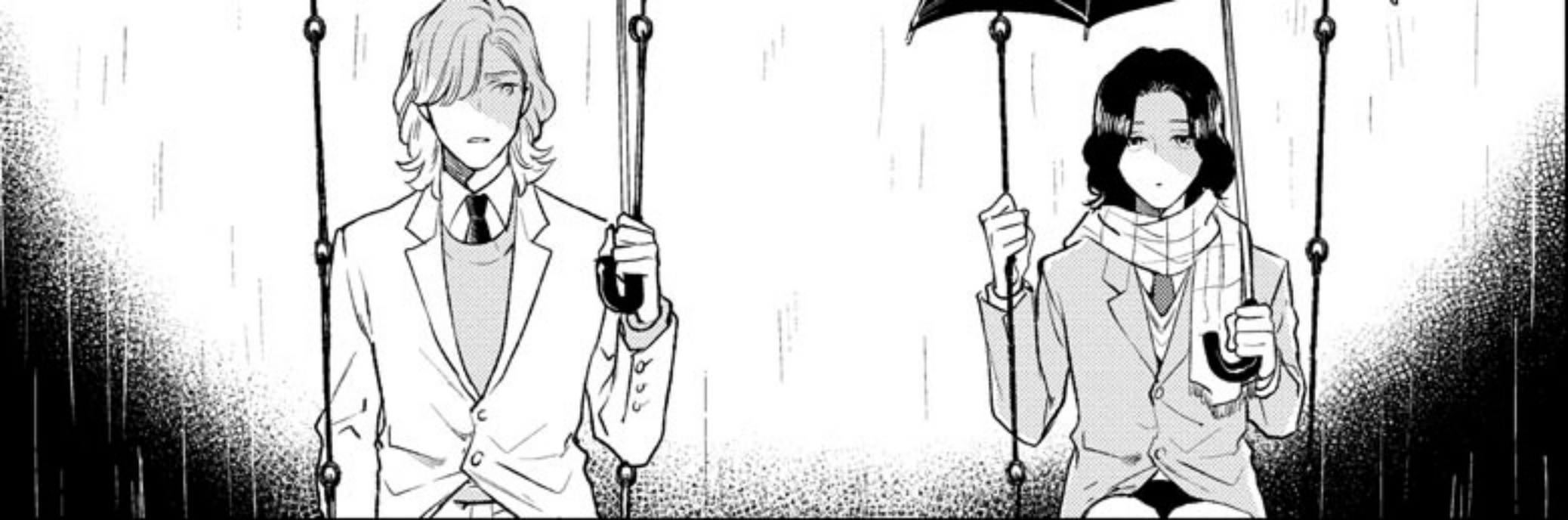
年を取らない
ところは同じ

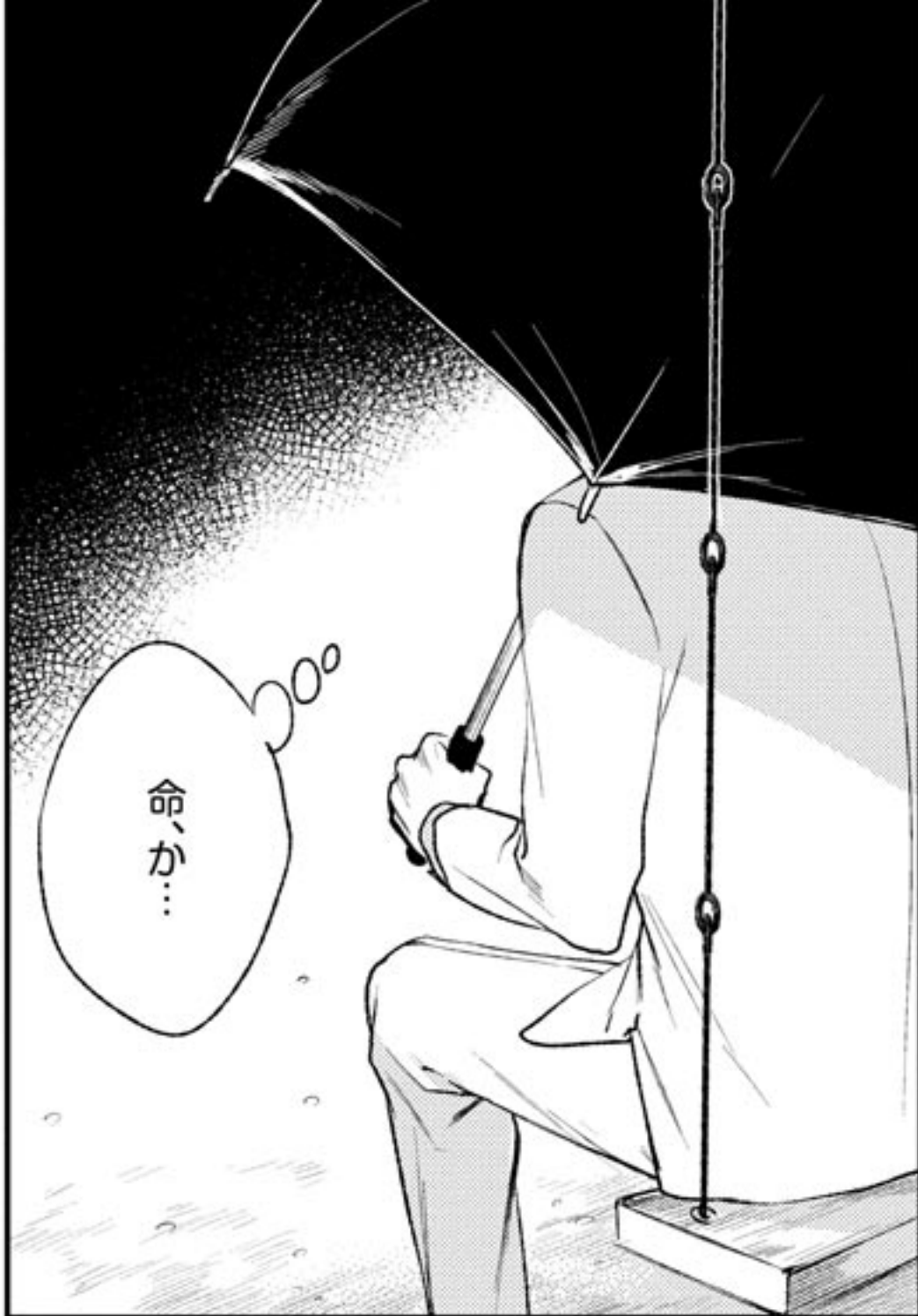
でも太陽の光は
平気だし

血を飲むことでしか
生きられない本物の
吸血鬼とは違って

人間の食べ物で
生きていける









どうしてだろう…
助けようとした
だけなのに

直接飲むのが
嫌だった？

—…っ



まだ怒ってる
だろうけど…
本人に聞こう



だめだ
やっぱり分からない